

# 令和7年度 都立瑞穂農芸高等学校 定時制課程における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組
農業	・実験・実習を通して、実践的な知識・技術を習得させる。 ・自然環境や生命を大切にする姿勢を身に付けさせる。	①プロジェクト学習やプロジェクト研究活動を通して、生徒の思考力・判断力表現力を伸ばす。 ②東京都GAPに関する教育に取り組む。 ③SDGsを取り入れた授業を実施する。
英語	「話すこと」の指導の充実	①中学校における学習内容の定着を更に図る。 ②外国人講師との授業を通して簡単な英会話を習得させ、外国文化や習慣に触れさせる。
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	①学習アプリの有効利用、図書館と連絡しての読書指導を通して国語力の伸長を図る。 ②授業内の討論を通して、聞く力・話す力を伸ばす。 ③様々な文章の読解、作文等の表現活動を通じて、社会と自分との言語によるつながりを認識させる。
数学	基礎・基本的な計算能力の定着を図る	①1年生では主に基礎・基本的な計算能力の定着を図る。 ②数学のよさを認識させ、様々な事象に対し数学を積極的に活用する態度を育てる。
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	①科学的リテラシーが豊かな生活を営む上で重要であることを理解させる。 ②物理・化学・生物・地学という幅広い理科の学問を学ぶことで、多元的な科学的知識の定着をはかる。 ③実験データから表やグラフを作成し、正しく分析する力を養う。 ④実験レポート作成、ポスター作成、発表などの言語活動を段階的に行い、論理的思考力と説明力、発表力を養う。
保健体育	体力の向上	①体力の構成要素を高める運動を全ての授業で実施する。 ②他者と教え合う共同学習を全ての授業で実施する。 ③新体力テストの結果を分析し、課題解決の方法を考える。
地歴 公民	社会的な見方・考え方の育成	①社会的な事象を位置や空間的な広がり(地理)、時期・推移(歴史)、倫理・政治・法・経済(公民)などに着目して捉えさせる。 ②探究的な課題に取り組む単元を設け、様々な事象を関連付けて考えられるようにする。 ③地図、グラフやデータを読んだり、作成したりできるようにする。 ④SDGs教育を通し、地球的課題を「自分事」として捉え、課題解決のための行動に移せるようにする。